

鶴見区区政会議 平成29年度第1回つる魅力向上部会

1 日時

平成29年6月19日(月) 19時00分～20時24分

2 場所

鶴見区役所 4階 402会議室

3 出席者

(委員)

岡本部長、大原副部長、佐々木委員、猿渡委員、田中(潔)委員

(区役所)

河村区長、野村副区長、安部総務課長、奥本区政企画担当課長、

阪東魅力創造担当課長、中村窓口サービス課長、石川総務課担当係長、

大山総務課担当係長、後藤総務課担当係長、山本総務課担当係長、

西久保窓口サービス課担当係長、定兼窓口サービス課担当係長

4 議題

1. 平成29年度鶴見区区政会議の進め方について

2. 平成28年度鶴見区運営方針自己評価について

3. その他

5 議事

開会 19時00分

西久保窓口サービス課担当係長 時間になりましたので、ただいまから鶴見区区政会議平成29年度第1回つる魅力向上部会を開催します。本日、夜の時間帯又お忙しい中お集まりいただきまして大変ありがとうございます。

私、本日の司会を仰せつかっております窓口サービス課保険年金担当の西久保と申します。どうぞよろしく願いいたします。

それでは早速でございますが、議事進行につきまして、岡本部長にお願いいたしたいと思います。どうぞよろしく申し上げます。

岡本部長 部長の岡本でございます。どうぞよろしく申し上げます。

まず初めに、昨年1年間ほとんどお休みいただきまして、大原副部長を初め、いろいろご迷惑おかけして申しわけございませんでした。

それでは始めたいと思います。本日は今年度初めての部会ということでどうぞよろしくお願いいたします。

それでは早速ですが、議題1.平成29年度鶴見区区政会議の進め方について、事務局から説明をよろしくお願いいたします。

石川総務課担当係長 区政企画担当の石川です。どうぞよろしく申し上げます。

平成29年度鶴見区区政会議の進め方につきまして、資料に沿ってご説明させていただきます。平成29年度鶴見区区政会議スケジュール案をご覧ください。

まず本日の第1回部会におきまして、平成28年度鶴見区運営方針の自己評価に関するご意見を部会ごとに頂戴したいと存じます。第1回部会后7月中旬ごろに全体会を開催し、各部会で出された意見を共有するとともに、所属部会以外の項目につきましても対局的な見地からご意見をいただきたいと考えております。

次に、9月の第2回部会では来年度に新たに策定する区政運営の長期指針である将来ビジョンについて区長原案をご提示するとともに、平成30年度の区運営方針を作成するにあたっての方向性を部会ごとにお示しし、委員の皆様のご意見をいただきたいと考えております。現委員の皆様方の任期は平成29年9月30日までとなっておりますので、10月には新しいメンバーの皆様による全体会を開催し、平成29年度の区運営方針及び予算の説明をさせていただく予定としております。その後11月の第3回部会、12月の第3回全体会におきまして平成30年度の区運営方針の素案及び将来ビジョン素案に対するご意見をいただきたいと考えております。年度終盤の2月には第4回全体会といたしまして区政会議でのご意見を受け、策定した区運営方針

案及び将来ビジョン案、予算案についてのご説明をさせていただき予定としております。平成29年度鶴見区区政会議の年間スケジュールについてのご説明は以上でございます。

岡本部長 ありがとうございます。今のご説明で何かわからないこと、ご意見ありましたら。ございませんか。大丈夫ですか。

では、次の議題に進めたいと思いますが、議題2.平成28年度鶴見区運営方針自己評価について、事務局から説明をお願いいたします。内容が非常に盛りだくさんでございますので、経営課題1をご説明いただいた後に意見交換を、そして続いて経営課題6の説明に移していただきます。ではよろしくをお願いいたします。

後藤総務課担当係長 説明に入らせていただきます前に、私は今年度始めてこの担当をさせていただきますので簡単に自己紹介をさせていただきます。この4月に着任いたしました総務課魅力創造担当の後藤多津子と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

それではご説明させていただきます。長くなりますので、座って説明をさせていただきます。

平成28年度鶴見区運営方針の自己評価についてでございますが、この自己評価は運営方針に記載の戦略と具体的取組につきまして、それぞれの目標の達成状況を把握し、有効性を評価することにより必要な施策の改善、見直しを行い平成29年度の取組み、次年度の運営方針、予算編成の繁栄をはかることを目的に行っております。それでは区役所が行いました自己評価のご説明の前に本日お配りしております委員評価シートのご説明をさせていただきます。こちらのほうになっております。本日運営方針について区役所が行った自己評価のご説明をさせていただきますが、昨年度に引き続き今年度につきましても運営方針に記載している具体的取組について委員の皆様から直接評価をいただきたいと考えております。つきましては本日の部会で説明をお聞きいただいた上で、この委員評価シートにより委員の皆様方ご自身で具体的取組の評

価を行っていただきたいかと考えております。お忙しい皆様方には、いわば宿題をお願いするような形で大変恐縮ではございますが何とぞご協力いただきますようお願い申し上げます。委員評価シートの記入の方法を説明いたしますと、めくっていただきまして左の欄に区として目ざす状態を記載しております。その右欄に具体的取組として28年度中に実施した取組を載せておりますので、それぞれの取組について記入例にありますように具体的取組が目ざす状態の実現にとっても有効であったとか思う場合は、やや有効であったと思う場合は○、有効、有効でなかったのかどちらとも言えない場合は、有効でなかったと思う場合は×印を記入していただき、具体的取組に対するご意見がある場合は一番右の欄にご記入ください。なお、評価に困られるような項目につきましては、ハイフンを入れていただいても結構でございます。評価は部会が所管する経営課題を中心にわかる範囲で、ご記入いただければ結構です。お手数をおかけいたしますがご協力のほどよろしく願いいたします。ご提出の期限につきましては、お忙しい中大変申しわけございませんが、7月10日、月曜日までとさせていただきますので、どうぞよろしくお願いいたします。

次に区役所が行った自己評価と28年度中に実施した具体的取組のうち、主な項目についてご説明いたします。資料3といたしまして、大阪市統一様式へ自己評価を追記いたしました、「平成28年度鶴見区運営方針」をお送りしておりますが、詳細にわたりますので本日は部会所管の課題につきまして、資料2の平成28年度鶴見区運営方針実績・取組評価により、各事務を担当しております係長よりご説明させていただきます。

それではまず、私のほうからご説明申し上げます。今申し上げました資料2をご覧ください。資料2を2枚めくっていただきまして、経営課題1魅力あふれるまちづくり、1-1つる魅力の創造です。3から5年後の目ざす状態といたしまして、区民が世代を問わず鶴見区の歴史やまちの魅力を感じ、愛着を深めている。区外にも広く鶴見区の魅力を感じる人が増えているということです。戦略といたしまして、魅力的で

にぎわいのある取組みを通じて、全ての世代が参加しやすく交流をもつことができるようにし、区の歴史やまちの魅力について触れる機会が少ない区民が、関心をもつ機会を創出するでございます。地域や家庭レベルの身近な生活の中で実践できるエコ活動など、環境に対する意識を高める取組みを推進して、地域住民が主体的かつ積極的に取り組む体制づくりや活動のサポート、関係機関との連携を進めていくということになっております。

魅力発信の取組みで具体的な取組み計画といたしまして、地域の団体やボランティア、関係機関と連携・協力を得て、参加者の満足度が高いイベントを実施することで、にぎわいを創出し、地域の活性化を促進しながら区外にも鶴見区の魅力を広める取組みを行う。2点目といたしまして、区民が世代を問わず鶴見区の歴史やまちの魅力を感じ、愛着を深める取組みを行う。3点目といたしまして、さまざまな広報媒体を活用し、区の魅力PRに取り組むでございます。

目標といたしまして、事業を通じて、「多種多様なイベント・事業が行われるので鶴見区は楽しくおもしろい、魅力のあるまちであると感じる」と回答した区民の割合を60%以上と設定させていただきました。

実績につきましては、次のページをご覧ください。時間の都合上、代表して幾つかをご紹介しますさせていただきます。まず、左上のつるみ『ワールドフェスタ』、これは昨年10月15日に鶴見緑地で開催いたしました。参加者は約4,000人を数えております。同日に鶴見緑地フェスタと「はならんまん2016」、区役所所開催のイベントではございませんが同日開催しております。右のほうに移りまして『TSURUMIウィンターフェスティバル』ですが、12月10日に開催。参加者が約1万2,000人来ていただいております。これはお昼の部といたしまして、J-COMの協力により『高校軽音フェスティバル2016』を開催し、企業協力を得て実施いたしました。次の左下のほうになります『TSURUMIスプリングフェスティバル音楽の森』でございますが、3月25日に開催し参加者約4,000人来ていた

だいております。これは『春のM a k a n a i マルシェ』と同日開催しております。次のページにいきまして、『T S U R U M I スプリングコンサート』、区民センター小ホールで3月4日に開催いたしました。参加者は約250名に来ていただいております。このコンサートはトワイライトコンサート出演者を一堂に会したコンサートとなっております。出演者の方は全てボランティアで出演していただいております。続きまして右横の鶴見活性化 楽園会議企画イベント『おさかな王国』を3月12日に開催いたしました。参加者、約500人に来ていただいております。この鶴見活性化 楽園会議イベントにつきましては、今回を合わせて4回開催いたしました。場所は区民センターで実施いたしました。この区政会議の委員の方であります猿渡委員につきましても、楽園会議のメンバーであり、ご協力、運営に携わっていただきました。どうもありがとうございました。

続きまして、ページをめくってください。冊子ですけれども、「発見！！つる魅力」の発行ということになっております。これは平成27年度に作成し、そのときには区内全戸配布させていただきました。翌年28年度以降につきましては、新規転入世帯に無料で配布しております。29年度につきましても引き続きやっております。以上が実績となります。

続きまして、次のページをご覧ください。その下になりますが、取組みの評価といたしまして事業を通じて、「多種多様なイベント・事業が行われているので鶴見区はおもしろい、魅力のあるまちであると感じる」と回答した区民の割合ですが、目標60%以上に対しまして、75.8%をいただきました。これは28年度に実施いたしました区民アンケートの結果でございます。28年度の成果と29年度の課題といたしまして、イベントごとに実施したアンケート結果において「満足した」及び「鶴見区は魅力のあるまちであると感じる」と回答した割合が全てのイベントで目標値を上回っていますが、変化するニーズを捉え、反映したイベントを実施するため、検討・再構築を図る必要があります。もう1点といたしましてはイベント不参加者の理由が、

「イベント開催自体を知らなかった」ということが多く、情報発信の回数・方法についても検討する必要があるかと思っております。それを踏まえまして、29年度の取組みといたしまして、地域やボランティア等の連携・協力して、にぎわいの創出や地域の活性化を促進し、文化・芸術に身近に触れることができるイベントを実施するなど、区の魅力に取り組む。鶴見区の歴史やまちの魅力を広める取組みを行うということとしております。A4の横になっている紙をご覧ください。つる魅力の創造事業の事業一覧ということでさせていただいております。28年度の方と29年度を比較してつくらせていただきました。29年度での説明をさせていただきます。趣向を凝らした点と変更・新規のみをご説明させていただきますので、よろしくお願いいたします。

まず、10月の『つるみワールドフェスタ』でございます。これも昨年同様、同じイベントですが今年度につきましては地域活動支援課が実施いたします『青少年カーニバル』と同日開催させていただきます。単体で実施するより同日開催とすることによりにぎわいをつくり出すことができると考えております。次に11月の『アートフェスタ』、Newと表記しておりますが、昨年度は3月に音楽のイベントが重りましたので、時期をずらし、音楽プラスそれ以外の芸術を加えたもので考えております。場所につきましては区民センター大ホール等で予定しております。また、同日開催といたしまして、これも地域活動支援課が実施いたします人権トーク&コンサートを小ホールで開催し、相乗効果を狙っております。続きましてNewと表記している2つ目です。これは後ほど皆様にご提案させていただこうかと思っておりますが、12月から2月にかけて、『つる魅力検定(仮称)』の実施を予定しております。この検定は、つる魅力向上部会の委員の皆様がご提案いただき、今年度実施する運びとなりました。他のイベントにつきましては、ご一読いただきますようよろしくお願いいたします。

それでは資料のほうに戻りまして、29年度の取組みの3つ目の点につきましてで

すが、さまざまな広報媒体を活用し、区の魅力PRに取り組む。区広報紙、HP、フェイスブック、広報板等による情報発信ということですが、情報発信の回数や、掲出場所などを増やしていくことを考えております。

以上、私からの説明となります。

山本総務課担当係長　　続きまして、環境や花と緑をキーワードにした取組みの推進につきましてご説明いたします。私、鶴見区役所総務課魅力創造担当の山本と申します。よろしくお願いいたします。

それでは28年度に取り組みました実績につきまして、簡単にご紹介させていただきます。まず、写真の載っているページをご覧くださいませでしょうか。鶴見緑地でのホタルの幼虫放流ということで、こちらは鶴見緑地の来園者の方々に自然の中で多くのホタルが飛び交う姿を鑑賞して楽しんでいただくことで、鶴見緑地があります鶴見区の魅力の発信周知を目的としまして、区役所と地域団体であります鶴見にホタルを飛ばそう会、また区内幼稚園・保育園、大阪鶴見ライオンズクラブさんと協働で27年度から実施しております。28年度につきましては4月19日、鶴見菊水幼稚園の園児さんと実施してまいりました。今年度も既に4月18日、念法幼稚園の園児さんと放流の実施をしてきたところです。

続きまして、環境学習講座です。こちらにつきましては環境に優しいライフスタイルを心がけるきっかけとなる機会を提供することを目的にしまして、大阪市環境局との共催により身近なテーマで3講座を開催しました。まず、11月21日には風呂敷を使いまして風呂敷の多彩な折り方、また自由自在にいろいろと使うことができるという利点を生かしまして、エコなライフスタイルについて学ぶ「風呂敷 de ECO」という講座を開催いたしました。また、11月24日には、洗剤や水の使用を大幅に削減できるたわしを、使わなくなりましたアクリル毛糸からつくる「アクリルたわしづくり」の講座を実施しました。11月30日には牛乳パックに和紙を装飾する和風エコ小物入れづくりを通しまして、つくる楽しさやリサイクル、また環境に優し

いライフスタイルを学んでいただきました。

続きまして、環境フェスタです。こちらにつきましては、子育て世代を対象に環境に関してわかりやすく親しみやすい内容で開催しております。親子で楽しみながら気づきをもっていただくことで、家庭や地域でのさらなる環境意識の高まりにつなげ、鶴見区の魅力向上を図っております。こちら平成29年1月22日の日曜日に、区民センターの小ホールにおきまして、大阪ガスさんのご協力をいただき「エコ・エンジェルセミナー and おでかけガス科学館」というイベントを開催しました。こちらは地球温暖化問題の環境問題につきまして、参加者の方がクイズや実験に参加していただくプログラムで小学生とその保護者の方を対象に実施してまいりました。

続きまして、種から育てる地域の花づくり活動です。こちらは自分たちの手で種から花を育て、その花を公園や学校、幼稚園、保育所、区役所などに植えることで、潤いのあるまちづくりを進めていこうとするボランティア活動です。昨年度はボランティアの負担軽減や参加者の増加を図るため、鶴見緑地内に新たな花づくり広場を増設しまして現在は緑地の広場と今津の広場の二カ所で花づくりを行っております。それぞれの広場での参加者はこれまでに比べ増加しております。春まきと秋まきと年2回行っておりまして、それぞれの広場で種まきから花苗の育成を行い、各地域や公共施設に出荷し、また地下鉄鶴見緑地駅前の花壇や区役所にも植え込みを行っております。28年度の取組みは以上となっております。

続きまして、次のページに移っていただきまして、昨年度の評価といたしまして昨年度の区民アンケートの結果、環境に対する意識が高まっていると感じている区民の割合、目標60%以上に対して66%という結果でございました。今後に向けてということで1点目として、引き続き種花活動のボランティアの負担を軽減し活動しやすい環境づくりを図っていきたいと考えております。具体的には花づくり広場での花の土づくりというのを行っているのですが、これまでは6種類の土や肥料をまぜて土をつくっております、1つのシーズンで五、六回行っておりますので結構な重労働

でした。今年度からは最初からブレンドされている土を使うなど土づくりの作業の負担軽減を図っております。また、講習会も随時行っておりまして、講習会の参加をきっかけに種花活動に参加していただける方が多いということもございますので、ボランティアさんを増やす工夫といたしまして、昨年度までは区役所で講習会を行っていましたが、花づくり広場を実際に見ていただきながら活動内容のPRを図っていくため、今年7月に緑地の花づくり広場で寄せ植え講習会というのを実施したいと思っております。他にも区民まつりでの出展や広報紙等でのPRを行い、新たなボランティアさんの獲得をめざしていきたいと考えております。また、ボランティアさんの声もお聞きしながら、地域での子どもたちとの花植えによる交流に取り組めるところを模索し実施することで、ボランティアさんのモチベーションアップにもつなげていきたいと思っております。引き続きボランティアさんの意見をお聞きしながら活動しやすい環境づくりを図っていききたいと考えております。

2点目といたしまして、環境に対して関心の高い区民の割合をさらに増やしていくため、当区に多い子どもたちや子育て層を対象とした効果的な取組みを実施していきたいと考えております。具体的には親子で楽しみながら環境の大切さを感じていただく環境イベントの開催や区内の幼稚園・保育園と連携した鶴見緑地でのホタルの幼虫放流も引き続き実施していきたいと考えております。

次のページにいきまして、経営課題全体としての評価総括ということで、鶴見緑地を有する優位性をいかし、人気がある音楽系イベントや子育て世帯対象イベントを初め、多様なイベントの実施や、環境への関心を高める事業を展開した結果、区の魅力が向上していると感じている区民の割合が前年度に比べ5.5%上昇していることから、順調に進んでいると考えられるため、引き続き区の魅力の向上に向けた取組みを実施することで、魅力あふれるまちづくりを進めていきたいと考えております。

ご説明は以上です。

岡本部長 ありがとうございます。今のご説明について何かご意見、ご質問

あれば、よろしく願いいたします。

大原副部会長 特に意見というわけではないですけども、私がふだんから感じていることがありますて、29年度の取組みのお話になるのですが、後藤さんにお伺いしたいのですけども、例えば広報に関して、要はこういったいろいろなイベントやっていることをどれだけ区民の方にお知らせするかっていうところで、SNSを使ったりすることはすごく大事というのは感じているのですが、2年ほど前の区政会議にも話したことなのですけども、実は今情報というのはすごくあふれている状態で、常に携帯電話にはいろんなメールがたくさん来ている状態で実は見るのが結構おっくうになっている自分がおりまして、毎日来る情報というのはもう見ないのですね。むしろ情報が多いと見づらくなってしましまして、たまに来たりする内容のほうが自分のほうとしては結構気にして開いて追いかけてたりするっていうのが結構あったりしますし、内容でも例えば内容の濃い情報っていうのも、タイトル1つであったり書かれてある内容がすごく目に飛び込みやすいものになってくると結構追いかけてたりする傾向があるので、私は、情報発信量増やすっていうのは必ずしもいいこととは限らないと思っております、ある程度しぼって、かつ内容を見た目に深くするということがよりいいような、要は捉え方っていうのですかね、目に飛び込んできやすいこともあったりすると思うので、そういったところも含めて検討いただければと思っておりました。

後藤総務課担当係長 今のご意見をいただきまして、どのような発信の方法が効果的であるかを考えていきたいと思っております。

田中(潔)委員 あまりいい意見じゃないのですけど、まずしょうもないこと言うたら怒られますけど、大事なことなのでしょう。鶴見緑地でホタルの幼虫が放流されたと、何年間かですね、今ごろですかホタルが飛ぶのは。

河村区長 もう終わり。

田中(潔)委員 もう終わりましたか。実際どうなんですかね、飛んだんですか。

山本総務課担当係長 実際、ことし5月の下旬から先週ぐらいまでにかけてまして、

ピーク時では20匹ほど、緑のせせらぎでゲンジボタルが飛んでいるのを確認できたという状況でございます。

田中（潔）委員 見に来られた方はたくさんおられるのですか。

山本総務課担当係長 夜間にどれだけ飛んでいるかっていう調査をしている際には、せせらぎのほうでも見に来られている方、何人かいらっしゃいまして、幼稚園さんの協力で毎年放流しておりますので、念法幼稚園さんの親御さんと、お子さんと一緒に見に来られたりしているようです。今はまだたくさん成育をしているという状況ではないのですが、その数を増やしていければと取組みを進めているところです。

田中（潔）委員 私は毎日大体あの辺を歩いているのですよ。朝、ここでホタルの幼虫が育つのかなとそういう疑問を感じながら歩くことが多いのです。途中で水切りをしたり、甲羅干しじゃないけれど、雑草を取るために水を流さない期間がしばらくあったり、そのときに幼虫は生きられるのかなということをいつも思っているのですけれども。

山本総務課担当係長 実際、公園の維持管理の中で、水をとめないといけないという状況があるというのも公園のほうから聞いておりまして、例えば大雨の後とか、ポンプが落ち葉で詰まってとまってしまったりとか、そういうことで水がとまってしまうという状況が年に何回かあるということを聞いておりまして、水がとまらないにこしたことはないのですが、どうしても公園の維持管理上とまってしまうということは避けられない状況でございます。ただ、とまっている時間というのもなるべく短い状況であれば、ホタルのほうもそのまま生息できると思っています。

田中（潔）委員 そうですか。もう1点、環境フェスタのいろいろな催し、一生懸命皆様やっていただいて、結構かと思うんですけども、ちょっと集客力が弱いような感じを受けます。参加人数とかを見ますと、環境フェスタで何度かエコ講座というのですか、えらい先生が講演みたいにしてもらっている。あれはちょっと話が難し過ぎるんです。だから聞いている子どもたちとかがわからないのではないかなと、もう

少し、恐らくかみ砕いたことを大阪ガスがされたかと思えますけど、もう1年前に見たときはとっても理解できない。学者・先生が自分の学説を披露するような延々と話をされたというような記憶がございます。だから、こういうふうになさるのはいいと思いますけれども、私の提案としてはせっかく、咲くやこの花館がございますので、あそこで園芸教室みたいな形でコラボレーションさせてもらいまして、おもしろい話とかきれいな花の植えつけを実際やってみる。そういうデモンストレーションみたいなのをやってもらったらどうなんでしょうか。咲くやこの花館の協力は得られるのではないかと思うんですけれど。

山本総務課担当係長 環境フェスタにつきましては、主に小学生とか保護者の方を対象に、子どもたちにわかりやすい内容で民間企業の協力をいただきながら進めておりまして、27年度はミサワホームさんに、「南極クラス」という南極の氷も触りながらというイベントをやっていただきまして、そのときは約170名の小学生の方と保護者の方にご参加いただきました。今年の1月は大阪ガスさんのご協力で、こちらはクイズと実験でお子さんに楽しんでいただけるような内容で開催をしてきたところですが、あいにく当日、天候が雨というような状況もございまして、思ったより集客がはかれなかった状況がございました。今年度につきましても、民間企業のご協力をいただきながら、お子さんが楽しんで環境を学んでいただけるような内容で企業と今調整を進めているところでございます。また、咲くやこの花館との連携の中で、花と緑に関する教室につきましても、今後の検討の材料にしてまいりたいと思っております。ありがとうございます。

岡本部会長 ほかございませんか。

ちょっと聞きたいのですが、評価のところでパーセンテージ上げてらっしゃるのですが、これって大体来はった人に全部アンケートをとられているのですよね。

後藤総務課担当係長 評価の右横の目標・結果でございますか。これにつきましては、区民アンケートということで1,500名の方にランダムに発信させていただ

きまして、ご回答いただいた数値になっております。

岡本部長 結構知ってはる人は知っているのですね。

後藤総務課担当係長 そうですね。

岡本部長 やっているということは、わかっているわけですね。ただ、そこに行くかどうかの話やね。去年も全然出ていないのでよくわかりませんが、私は今津に住んでいるので、今津と榎本はやっぱり鶴見緑地は遠いですよ。そこがやっぱりネックになっていると思うんですけど。

佐々木さんはよろしいですか。

岡本部長 そしたら続きまして、経営課題6についてご説明よろしくお願いたします。

大山総務課担当係長 ご説明させていただきます。私、総務課区政企画担当の大山と申します。どうぞよろしくお願いたします。

経営課題6、区役所力の強化というところでお手元の資料2の続きのところからご説明させていただきます。積極的な情報発信ということで3年から5年を念頭に設定しています計画の目ざす状態としましては、必要な情報が入手できていると感じている区民を増やすとさせていただいています。そして、そのための取組みの方向性として戦略については、広報紙、HPを初めとするさまざまな広報媒体を有効に活用し、きめ細かい情報発信に努めるとしております。

次のページをご覧ください総務課担当係長。さまざまな広報媒体を活用した情報発信としまして、平成28年度の計画としましては、区民が求める情報を確実にわかりやすく提供できるよう、広報紙、フェイスブック、HP、広報板等さまざまな媒体を活用し情報発信するとしておりました。また、そのための目標値としましては、区役所が実施している広報媒体の認知度90%以上と設定しておりました。28年度の実績につきましては、その右の四角のところに書いてあるとおりです。ご覧ください。こちらの中で平成28年度に新たに取組んだものとして、ツイッターを28

年度の1月から本格的に行っております。また、青色防犯パトロール車等を活用した情報発信。地下鉄駅壁面への区PRシート掲示。HPリニューアル、この4点を新たに組み込んだものとしております。区政会議委員の皆様のご意見を反映させたものとして、先ほど申し上げましたツイッターに力を入れてしております。また、青色防犯パトロールカーを使って情報発信をしていったらどうだろうというご意見もいただきましたので、こちらは2月中旬から開始いたしまして、これまで9回の実施しております。

次のページから具体的にご説明してまいります。

まず、広報「つるみ」、今皆様のお手元にもお配りしておりますけれども、毎月全戸配布しております。5万4,500部発行しております。ホームページにつきましては、平成29年の1月にリニューアルしております。これまでの組織別に分類された表示ではなく訪問者の立場に立った、訪問者側の目的別に分類した表示として整理し直しております。左下のところに鶴見区役所ツイッターとございます、防犯・防災情報を中心にいろいろな役立つ情報を発信しております。まだ1月に開始したところですので、フォロワー数が本日現在348件となっております。まだまだこちらは伸ばしたいと思っております。QRコードを貼っておりますので、委員の皆様もぜひこちらフォローしていただきたいと思っております。

右のところにつるみっ子だよりを書いております。こちらは鶴見区内の全小学校・全小学生に毎月配布しております。こちらもお手元に今月号お配りしておりますのでご覧ください。

次のページに参りまして、鶴見区役所フェイスブック、こちらは昨年から比べてこのような形で増えております。本日現在で824件ございます。こちらもQRコード貼っておりますので、皆様もぜひ「いいね！」をしていただいて、シェアをしていただいで広めていただきたいなと思っております。

では次のページをご覧ください。地下鉄の駅、またJR放出駅に鶴見区役所からの

お知らせとしまして、いろいろなポスターやチラシ配架をしております。広報紙も置いております。また、駅の階段を利用しまして、広報媒体等についてPRしております。また、地下鉄横堤駅の駅構内にもこのような「発見！！つる魅力」と目立つ形で区の魅力をPRさせていただいております。

次のページをご覧ください。鶴見区掲示板、こちらは区内61カ所ございます。こちらは毎月2回、ポスター・チラシの貼りかえをしております。また、右のイオンモール鶴見緑地、また三井アウトレットパークにもこういった情報コーナーを設けておまして、イオンモールにおいては、ポスター掲示、チラシ配架を毎月2回更新しております。下の写真ですが、青色防犯パトロール車を活用した情報発信を行っております。また公用車も活用して、こういったPRをしております。

次のページをご覧ください。評価としまして、区役所が実施している広報媒体の認知度、こちらは具体的には全戸配布しております広報「つるみ」、こちらは世代を問わず最も認知されるべき広報媒体として考えておりますので、この広報「つるみ」を知っていますかという質問で測った数値ですけれども、目標90%以上としておりましたけれども91.7%の方に認知していただいているということで、高い認知度をいただいております。ただ、広報を通じて、区政への理解や関心が高まったと感じる区民の割合が60.6%であるため、ターゲットの世代に合わせた有効な広報媒体を活用し、よりわかりやすくきめ細かい情報発信に努める必要があると考えております。今年度の具体的な取組みとしましては、1、広報紙の作成及び全戸配布、こちらは紙媒体で毎月届くものとして世代を問わず最も有効な手段と考えておりますので、今後力を入れるべきものと考えております。全世帯を対象により充実した内容にしていきたいと考えております。

2、HP、フェイスブック、ツイッターによる情報発信、こちらは対象としまして主に10代から40代を想定して情報発信していきたいと考えております。

3、こちらは今年度新しく取り組むものとしておりますが、ユーチューブやフェイ

スブックなどで動画を配信することで区政情報を発信していきたいと思っております。こちらは主に10代から40代を想定しております。フェイスブックなどで民間の広告や一般利用者でも最近では動画をよく配信される方がたくさんおられます。皆さんがご自身のタイムラインで閲覧されるときにはこれらに負けないようにPRする必要がありますので、わかりやすく目にとまりやすいような形の動画でPRをしたい、また顔の見える情報発信というものをしていきたいと考えております。

4つ目、こちらでも新しく取り組む課題ですけれども、区内高等学校との協働によるラインスタンプの制作・販売、こちらは主に10代から20代の方を対象に考えております。現在、いろいろな広報物でつるりっぷを使っておりますけれども、広報ツールとしてさらに若い世代に愛着・浸透させていくために、実際にラインで高校生が会話する中で使いたくなるようなスタンプを高校生とともに、開発していきたいと考えております。

次に小学校を通じた、これは「つるみっ子だより」ですけれども、こちらは子育て世代を対象に考えております。

最後、青色防犯パトロールカー、こちらは平日の日中にしておりますので主に子育て世代や高齢者の方を対象に今後もしていきたいと考えております。

次のページをご覧くださいませでしょうか。繰り返しになりますけれども、経営課題全体としての評価としまして、「区民が求める情報を広報紙を初め、ホームページやフェイスブック等さまざまな広報媒体により発信しており、特に広報紙においては高い認知度をいただいている」と考えております。

また、「広報を通じてさらに区政への理解や関心を高めるため、今後も引き続きSNSの活用など効果的な情報発信を行い、わかりやすくきめ細かい情報発信に努める」とさせていただきます。

説明は以上です。

岡本部長 ありがとうございます。今のご説明についてご意見ございますか。

猿渡委員 広報紙の認知度が今も91.7%でこれは物すごい数字なんじゃないかなと思って、評価シートを見させていただいたのですが、きめ細やかさも確かにそうなんですけど、恐らくターゲットを絞ることであるとか関心をあおること、広報とはいえやはり広告であるべきと思うんです。その中でいかに読者なり受け手の関心をあおっていくかというところが多分一番難しいところで、91%をより100%に近づけていく中での戦略というのは物すごい緻密じゃないだろうかというふうな、だからできるとかできないとかじゃなくて、すごい緻密な話じゃないのかなと。今でも相当にレベル高いんじゃないですか、これはと思いました、ということなんですけどいかがなんでしょうか。例えば、九十何%というのを見せていただいて決して低いとはどなたも思われないのかなとは思っています。ましてや、目標値はクリアしているわけですけども、すごくそれはハードルがもともと高いのでしょうか、それとも大阪市全体としてというような話があるのでしょうか。

大山総務課担当係長 こちらの90%以上という目標値につきましては、「広報つるみをご存じですか」ということで取らせていただいた数値になっております。鶴見区は平成26年度から全戸配布をしております。それまでは新聞折り込みの方と希望者の方にお配りしてまいりました。ただ、26年度から全戸配布になりましたので、まず皆様のご家庭に必ず届いているはずということなので、広報紙の認知度というのは自動的に高くなるわけですが、次のステップとしまして、それらを通して区政への理解や関心を高めるという、知っていることは知っているけれども、先ほどご指摘いただきました「関心を高める」というその目標が次のステップと考えております。それが区民アンケートでは60.6%でありましたので、そのところを広報紙だけではなくいろいろな媒体を通じて情報発信内容をきめ細かに考えていくべきではないかと考えております。そういったことが次の課題ではないかと考えております。

猿渡委員 ありがとうございました。

岡本部長 いいですか。

大原副部長 小さいこと1件と、ちょっとややこしいこと1件だけなのですが。小さいことからですけど、横堤駅の構内に鯨のイラストの入った区の魅力PRシートがあるのですが、いつもじっくり見たいなと思うんですけど、あそこは、たくさん人が通るんですね。あそこでゆっくりいたら怒られそうなくらい人通りあるのでなかなかゆっくり見られてない人も多いんじゃないかなと思っていて、僕も朝はまず見られなくて夜通るときも何か疲れていて見てなくてゆっくり立ちどまることもできてないんですけど、例えばもし、今後場所を変えることができるんだったら、改札の周辺とか難しいんですか。改札の入ったところか、手前のところか。

大山総務課担当係長 そうですね。あそこに設置した理由としましては、自転車置き場の横の通路が長くてスペースがあるけれど、暗い感じがしまして、また、改札を降りて区役所に初めてお越しになる方にウェルカムな歓迎の意味も込めて区の魅力をPRしたいという思いで設置いたしました。

大原副部長 確かに初めて見たとき楽しかったです。中が明るくていいなと思ったんですけど。

大山区政企画担当係長 割と日中に通られる方はよく立ちどまってご覧になられている方もおります。

大原副部長 わかりました。あともう1点だけですけど、先ほどの広報紙の件なのですが、弊社もペーパーレスとなっていて、ペーパーレスだとよく細かく見られなくなってしまうという点でいいわけじゃないのですけれども、ある一方、ペーパーレスではメールで来るようになっているのです。メールで見ると見ようかなということで、自分が暇なときとかに携帯とかで見たりするようにしているのです、会社の広報紙とかもですね。例えばなんですけど、希望する方とかに、これはややこしい話なのですが広報「つるみ」とかを携帯で移動中に見たいという方とかいらっしゃったら、そういう方をメールでとかで例えば配信を希望される方にお配りするとか、そういうことというのはできたりするのですか。例えばPDFで送るだとか。

大山総務課担当係長 現在、広報「つるみ」の内容は全てホームページでPDFで掲載しております。あと、いろんなモバイルの媒体で実際にページをめくるような形で閲覧できる、デジタルブックという形で掲載をしております。

そういった形でWEB上に掲載しておりますけれども、例えばフェイスブックやツイッターなどで皆さんに告知するというのもできると今ご意見いただき感じております。

岡本部長 ほかいかがですか。

田中(潔)委員 これ毎月、作るの大変でしょう。かなり労力を、区長のほうも毎月挨拶を書かなあかんし。自己主張ができていいですかね、区長。

河村区長 タイムリーなネタで書かないといけないですし。

田中(潔)委員 相当時間をかけておられるのでしょうかね。ひと月でつくっていいかなあかんからね。

大山総務課担当係長 そうですね。特に一面のところは、最初にページをめくってもらえるかどうか、勝負所かなと思っておりますので、毎月どんな一面にしようかなというのはすごく考えてやっております。今月は食育月間なので、栄養士によるバランスの取れたお弁当ということで企画しました。食で釣ろうではないですけど。

田中(潔)委員 紙質もよくなりましたね。

大山総務課担当係長 はい。こちらは以前より紙質よくしておりますが、この紙質のほうが費用は安いそうです。

田中(潔)委員 そうですか。

岡本部長 私的には掲示板に貼っていただいたら非常に助かるんですよ。家に来て、そのときに見るんですけど、どこかに置いて、どこかにいってしまう。それで、放出駅に貼っていただいているのを見てまた思い出して、こんなあったなっていうのをね。ぜひ続けていただきたいなと、あちこちに貼っていただけたら助かるんです。

大山総務課担当係長 ありがとうございます。

岡本部長　　ユーチューブは誰がつくりはるんですか。

大山総務課担当係長　　動画配信については、まだやり始めたところなんですけれども、職員が撮りまして、それを実際にこんなイベントしましたというのを、関わられた区民の方とか団体の方とかのお顔も入れながら、また参加されている方の様子とかも入れながら配信していけたらいいなと思って、職員が作ったものを今2つ配信しているのですけれども、今後は委託業者にもお願いして、配信していきたいと思っております。

岡本部長　　今小学生が一番なりたい職業ってユーチューバーですよ。小学生くらいに一回つくってみて言ったら喜んでつくってくれはるかもわからへん、小学生が。

田中（潔）委員　　そんなの作るの好きな人おるからね。

岡本部長　　結構ね。

田中（潔）委員　　回数、何万回とか開いた、それを楽しんでいる人おるから。区役所の人はどうしても慣性の目が入るから、だからもっと一般の人のほうで募ってみてもおもしろいかわからんね。

佐々木委員　　6月号の広報紙も女性の立場から、たまに広報紙見て感想を聞くんですけど、こういうのが頭に入るとすぐに食事のこととか身近なものだから、いつも載ってなくてもこういうのはたまに関心を引くようなものが入れば、今度は何かなというように、全然違ったものであったとしても、広報紙を眺める姿勢が変わってくるんと違うかなと思いました。表紙が「食」に関するものなので、やっぱり皆さん毎日の食事、何にしようかなってことは皆頭にありますので、普通のチラシでも案外皆さん見ていますわね、だから広報紙の中で載せられるっていうことはすごい関心があったような気がしました。

田中（潔）委員　　恐らく6月号の24区あるけど、こういうのをトップにもってきたのではないでしょうね。鶴見区くらいちゃうか。

岡本部長 ほかいかがですか。何か、よろしゅうございますか。まだお時間はちょっとあるんですが、大丈夫ですね。じゃあ、次にいきましょうか。

一応、今までいただいたご意見を次の全体会で私のほうから部会報告させていただく形になりますけど、よろしく願いいたします。

それでは次に議題3、その他について事務局からよろしく願いします。

後藤総務課担当係長 それでは私のほうからご説明させていただきます。皆様、左側にホチキス止めをしております、つる魅力向上部会委員用ということの四角で囲んでおります鶴見区検定の実施について（案）というのをご覧ください。

追加資料でございます。皆様ございましたでしょうか。それでは、ご説明させていただきます。

鶴見区検定の実施について（案）ということですが、これは先ほど申し上げましたが、今年度新規事業といたしまして、鶴見区検定の実施を考えております。これは、つる魅力向上部会の皆様が昨年度ご提案いただきまして、今年度実施させていただきます。今のところのイメージ図を資料に沿ってご説明させていただきます。

子どもから大人までの区民の方が区の歴史やまちの魅力を感じることで、区や地域への愛着をより深めていただく取組みとして実施いたします。対象者といたしましては、一般用と子ども用ということで2種類考えております。一般用は中学生以上と一応考えておりますが、子どもさんが一般用を受けていただくことは全然問題ございません。子ども用は小学生を対象としております。

実施方法につきましては、一般用は試験会場で実施する予定です。場所につきましては、現在検討中でございます。子どもさん用につきましては、まだ検討中ではございますが、回答提出制で実施しようかと思っております。イメージといたしましては、検定問題を学校等の協力を得まして全児童への配布、締切期限を設けまして参加希望の方のみが回答を郵送、メール、持参などにより提出していただくようなイメージを今のところ持っております。

実施月につきましては、一般につきましては来年の2月の土・日・祝日のいずれか1日を考えております。子どもさん用につきましては、提出方式ということで考えておりますので12月1日から、翌年の1月中旬の冬休み期間をイメージしております。

出題等につきましては、これは本当にまだまだイメージですけれども、一般が50から70問程度、時間が45分から60分、子どもさんにつきましては、20問から30問程度かなと思っております。

出題範囲につきましては、皆様机の上に置かせていただいております、「発見！！つる魅力」冊子と、区のホームページを中心に考えておりますが、問題の1割から2割程度はそれ以外からも出題してもいいかなというふうに考えております。

賞品につきましては、何らかの形で基準を設けまして賞品ということ考えております。やはり賞品があったほうが、盛り上がるかなと思ひまして、賞品も考えております。

スケジュールにつきましては、イメージですけれどもご一読いただければと思ひます。

出題見本につきましては、別紙ということで1枚めくっていただきまして、つる魅力検定サンプル問題ということで、4問ほど載せさせていただいております。これは「発見！！つる魅力」の冊子からつくらせていただきました。皆さんこの問題の答えをご存知でしょうか、このようなイメージで問題をつくろうかと思っております。裏面をめくりましたら、サンプルの答えも載っておりますので、ご説明を聞きながら後ろも見ていただければと思ひます。どれを大人の問題にするか、子どもの問題にするかというのは集まった問題で考えていこうかと思っておりますが、意外と難しい部分もあるかと思ひます。ただ、この「発見！！つる魅力」の冊子を端から端まで読んでいただきますとほとんど答えが載っておりますので、よろしく願ひいたします。

ここで皆様にお願ひがござひます。何度も繰り返し申し上げてはいますが、このつる魅力検定、仮称ですけれども、実施に至るに当たりまして、ここのつる魅力向上部会

の皆様のご提案があったので今年度実施する運びとなりました。皆様に問題を考えていただければと思っております。一人一問だけでなく、何十問でも思いつく限り、何問でも結構ですので問題のほう考えていただきたいと思っておりますので、どうかご協力のほどお願いいたします。

つる魅力向上部会の皆様方にたくさんつくっていただきたいと思っておりますが、広く問題を募ることによって広報的な意味合いの効果もございますので、他の部会の委員の方にも問題を募集しようかなと思っておりますのですが、皆様いかがでしょうか。

岡本部部长　　もちろん。

佐々木委員　　いいと思います。

後藤総務課担当係長　　ありがとうございます。そうしましたら次のページをめくっていただきまして、イメージチラシがございます。「(仮称)つる魅力検定を実施いたします。区政会議委員の皆様、問題作成のご協力をお願いいたします」という形で募集のほうをしたいと思っております。応募方法、何でも結構です。一応郵便、ファクス、メール、窓口というふうに書かせていただいておりますけれども、どんな方法でも結構です。「思いついたから電話したわ」とかでも結構でございますのでご連絡いただければと思います。一応問題を印刷にかけていかないといけない関係上、29年8月31日を締切期限という形で取らせていただいております。もちろん一日、二日過ぎたけど、こんな問題思いついたわということは大丈夫ですが、一旦期限をとりあえず切らせていただきます。

以上、私からのお願いと説明になります。

岡本部部长　　今の説明に何かご質問、ご意見。私、去年休んでいたのもこんなことになっているとは思わなかったのですが。何人くらい受けてもらった方がいいのですか。

後藤総務課担当係長　　そうですね、大阪市の中でこういった検定やっているのは他区でも一つございまして、その初年度が300名ほど受けられておりますので、会

場の関係上その大きい会場が見つかるかどうかということ、その会場のキャパにもよってくるのですが200名くらいは考えてはおります、一般の部ですけども。子どもさんの部につきましては、どのくらい関心を持ってくださるかなというのが正直不安な部分でもございますが、子どもさんの部は、会場の問題がございませんので多ければ多いほど何名でもお受けさせていただきますということです。

岡本部長 会場もある程度、ばらけさせたほうがいいかもわからんね。1カ所に集めちゃうと遠いからやめとこという人もできるかもわからんね。川渡るのもしんどいもんね、結構ね。

後藤総務課担当係長 そうですね。

岡本部長 二、三カ所に分けていただくと、もしかしたらよりいいかも。どっちやろな、1カ所に集めた方がいいんかな、イベント的には。

後藤総務課担当係長 今年度は初年度ですので、ちょっとこういった形がいいのかってというのが、まだまだ検討している最中ですので、ご意見も参考とさせていただきますたくっております。

岡本部長 とにかく問題をたくさんつくってちょうだいということですよ。

後藤総務課担当係長 よろしく願いいたします。

大原副部長 問題なんですけど、1番の問題は100周年でいいと思うんです。鶴見区の人口が10万人を突破したっていうのは、これなんか勘みたいな感じになりますよね。あまりいつっていうのはおもしろくないなと思ってたんですけど、例えば4番なんかもみんな大橋さんで名前が違うだけなんで、それよりもいろんな名前があった方がいいかなと思います、一つ、河村区長でも入れといたらいいんちゃうかなと思ったんですけど。なんか聞いたことあるっていうて入れる人いるかもしれないですね。

後藤総務課担当係長 おもしろいですね。

佐々木委員 区長の写真とか。

岡本部長 小学生向けと大人向けの問題は変えるということでしょう。

後藤総務課担当係長 さようでございます。この問題はさすがに難しいかなと思うんですけども、ただ小学生向けにつきましても提出制なので、親子で考えていただくとか友達同士で考えるとか、100点満点を取るというよりか、考える、一緒にする、ということも目的でもありますので、ちょっとだけ難しいのも一、二問入れたいもおもしろいかなというふうには思っております。

大原副部長 1番、90周年って丸が一個足りないからばれますね。90周年じゃないからってわかりますね。丸3つやなったら大体2、3、4ってなりますよね。

後藤総務課担当係長 そうですね。私、サンプルのとき のときにわかってしまうなと思いながら作成しました。

猿渡委員 賞品なんですけど、認定書はどうかなと思います。僕らは仕事で救急救命講習を受けますけど、時間が短いと入門編みたいなパウチに入った小さいカードなんです、それが表彰状の小さいものがあったりとか、今結構、僕も仕事柄そういうアイテムを子どもたちに配ることが、よく頑張りましたみたいなやつがこんな小さい表彰状みたいなものがあったりするんで、そういうのがつくれたらっていうのと、子どもと大人があって、子どもが大人のほうにもチャレンジできるっていうのはすごくいい仕組みやなと。子どもですので親御さんと回答を一緒に考えてもらって合格をめざしてもらうのは全然構わないんですけど、ちょっと中に本気の子がおってもおもしろいなと僕は思うんですね。大人の問題を俺はいけると。もちろん振り仮名振ったりとか余計な手間が一つ増えるのかもわかりませんが、でもそうすることでその子たちは一般の会場で試験を受けてもらうということで、大人並みの経験ができてもおもしろいし、そこで親子で競い合いがあってもいいのかなというのはすごく思うんですね。ぜひ合格者の称号としてつる魅力士っていうのを使ってください、ぜひ。寝ずに考えた、うそです寝ましたけど、鶴見緑地にひっかけてつる魅力士っているのおもしろいなって去年から考えています。ざわざわってダジャレやんと流されてしまって、

とっても寂しかったですけど、一応ここでももう一回言うときます。つる魅力士ってええなあと思っています。なので、キッズ版、つる魅力士キッズなり子ども版でつる魅力士、将来的には3級、2級、1級みたいな、そういうのがあればおもしろいですね。

佐々木委員 一回だけじゃなくてね、またレベルをアップしてやればいいのと違うかな。

猿渡委員 愛着を通り抜けて、鶴見区オタクみたいなのが知らんのかなみたいなのが中学生あたりにおると、社会科の先生はピリッとなるやろなとか思うんですよ。居そうじゃないですかいろんな子たちが。そういう子たちが大人をつっついたりするのがおもしろいなって、年齢制限がないあたりが。例えばアマチュア無線のテストなんかもそうじゃないですか、小学生でその問題解けるんかなって、丸暗記やったらいけるんですよ、で、取っちゃうんですよ、小学生がやっぱり。その子たちってすごい鼻高々やし、僕はとっても得がたい経験をその子たちは頑張った分しているんだろうと思うんですね。その中で、鶴見区に愛着を持ってくれる子たちが一人でもこの取組みに通じてくれることってというのは、むちゃくちゃ後世に宝物が残りそうな気がします、すごく。うちのちびはまだまだ全然ですけど、絶対受けさせますからね。その年齢になれば必ず受けさせますので。まだ10年くらいかかるとは思いますけど、受けさせたいなと思います。

後藤総務課担当係長 ありがとうございます。今のご意見等も参考にさせていただきまして、よりよいつる魅力検定をつくっていきたいと思っておりますので、皆様また意見を忌憚なくいただければ、思い出したら電話をかけていただいても結構でございますので、問題以外にも意見等をいただけましたら幸いです。

猿渡委員 子どもの問題は子どもたちがつくとかってのもありなんですかね。どの程度このことを知って、学校では授業で取り上げはったんですかね。

田中(潔)委員 (「つる魅力冊子」以外に)もう一つ、ペア版もあります。

猿渡委員 小学生版ですね。それ何かちょっと配りはったりとかしたんですかね。その中から例えばそれがもし家にあってとか、希望する人にそれもろてもうて、その中からでも問題つくったらと言うたら、問題つくったやつは受けるやろうと僕思うんですよね。興味があるわけでしょう、そうやって興味をあおってあげると準備段階からかわってくる子とかが出てくると非常におもしろいなと思いますけど。与えられるの待っているじゃないほうが、もしかしたら積極的に取り組めるかもしれないです。

後藤総務課担当係長 ありがとうございます。貴重なご意見、本当にありがとうございます。また考えさせていただきます。ありがとうございます。

岡本部会長 よろしいですか。じゃあ次いきましょうか。次まだありましたね、ご説明が、よろしくをお願いします。

石川総務課担当係長 すみません、私のほうから区政会議の次期委員の募集についてご報告させていただきたいと思います。ご存じのとおり、現在の委員の皆様の任期は公募委員の方も含めまして、9月30日までとなっております。つきましては、次期区政会議委員につきましても、公募のほうで募集を行ってまいりたいと思いますのでよろしくお願いします。また、本日募集要項をお配りさせていただいておりますが、委員の募集期間につきましては、来月7月1日から31日の間としております。詳細につきましては、そちらをご覧くださいと存じます。私からの報告は以上です。よろしくお願いします。

岡本部会長 今の説明でご質問ありますか。ございませんか。

一応これで本日の予定した議題は全て終了ということになります。皆さん本当にたくさんのご意見ありがとうございました。お疲れ様でございました。では、閉会に当たり区長のほうから一言ご挨拶よろしくお願いします。

河村区長 今日は熱心なご議論ありがとうございました。参考になる意見もたくさんいただきましてありがとうございます。本日ご説明いたしましたように、鶴見区では魅力向上にいろんな取組み、イベント等行っていますけれども、ことしはそれぞ

れの事業に創意工夫を凝らして、また今までとは違った方にも参加していただけるような、またいろんなそういう工夫も凝らしていきたいと思っております。そのための広報もいろんな手段があるわけですが、先ほど説明させてもらいましたように今SNS含めて、それをどう使っていくのがいいのかと我々も日々頭を悩ましているところです。新しいことにもどんどん取り組んでいきたいと思っておりますので、引き続き何かご知恵がありましたら、教えていただければと思っております。ことし魅力創造の大きな取組みであります、つる魅力検定については新しい取組みということで我々もまだ手探りでやっているところがあります。今日いろんな参考になる提案たくさんいただきましたので、ぜひそれを生かして本当に実のあるものにしていきたいと思っております。猿渡委員におっしゃっていただきました認定つる魅力士をぜひ取り入れる方向でと思っております。問題はいろんな形でつくれるかとは思いますが、みんなが知っているものもあれば委員の方独自のオリジナルのものでも結構ですし、私しか知らない鶴見区の秘密みたいなものでも結構ですので、たくさん出していただいた中でこれはいいなというのがあればそれも取り入れたいなと思っておりますので、ぜひどしどし1問でも多く問題を提案いただくと非常にありがたいなというふうに思っております。

ということで、今回今年度初めての部会ということでしたけれども、また引き続きよろしくお願いいたします。今日は本当に長時間ありがとうございました。

岡本部会長 どうもありがとうございました。では最後に、事務局から連絡事項ございましたらよろしくお願いいたします。

西久保窓口サービス課担当係長 たくさんの貴重なご意見いただきましてありがとうございました。最初に進め方のところの直後にもご説明させていただきましたが、委員の評価シートについて再度ご確認させていただきます。委員の評価シートにつきましては、おわかりになる範囲で結構ですので評価をいただきまして、ご提出お願いしたいと思います。提出の期限については7月10日の月曜までということにさせて

いただきたいと思います。また、シートについてはメールでも送信させていただきたいと思っておりますので、提出はメールで出していただいても、ペーパーで出していただいても結構でございます。あと、さらに本日評価シートとは別にA4の1枚物でアンケート用紙をお配りしております。これにつきましてはアンケートについてもご記入いただきまして、今日書いていただいても結構ですし、後日先ほどの評価シートとあわせて提出でも結構ですのでよろしくお願いいたします。

岡本部長 メールでいただくんですか。

西久保窓口サービス課担当係長 どちらもメールでお送りします。あと、次回7月中旬ごろに全体会議ということで予定しておりますので、全体会議ではほかの部会のご意見等もご議論いただきたいと思いますと思っております。また、全体会の日程について日程調整の用紙をお配りしておりますので、本日わかる範囲で結構でございますので、これは今日記入いただいて、提出いただいてお帰りいただきたいと思いますというふうに思っております。日程が決まりましたらメール、あるいはお電話で全体会議の日程のお知らせをさせていただきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。以上です。

岡本部長 ありがとうございます。

河村区長 それと1点、本題とは違うんですけども今「市政改革プラン2.0（素案）」というのがありましてそれは大阪市の市政改革をどう進めていくかというのなんですけども、その区政編というのが今ちょうどパブリックコメントされている最中でホームページか何かを見ていただきますとその区政編というのが載っています、それは何かと言うと例えば地域活動協議会の活性化であるとか、どうしたら区民の方が周りの人とコミュニケーションをとって地域活動により積極的に参加できるかとかそういった個別の課題について、区長が思うことをいろいろ思いついたことを載せている、そういうプランがあるんですけども、それについてパブリックコメントをしています。その中身が確定したらそのうちの一部、区の運営方針何かにも反映できるものは反映していくということになっていきますので、それはまた成案が固まった

らご報告もさせていただきますが、そういう動きがあるということのご報告だけさせていただきます。

岡本部長 わかりました。これをもちまして鶴見区区政会議第1回つる魅力向上部会を閉会したいと思います。どうもお疲れ様でした。

ありがとうございました。

閉会 20時24分